令和7年度 8 月 定例教育委員会会議録

令和7年8月19日(火)

山梨市教育委員会

令和7年度8月 定例教育委員会 議事録

令和7年8月19日(火)午前10時から、山梨市役所401会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録の署名
- 4 協議事項
- 5 報告事項
- 6 連絡事項
- 7 閉会

○出席者

教育長	竹川 和彦
教育長職務代理者	原 喜雄
教育委員	相沢 季里
教育委員	新谷 時男
教育委員	武井 多加志

○欠席者

教育委員	織田 久美子
------	--------

○事務局職員出席者

学校教育課 課長	久保川 貴教
学校教育担当 指導主事	齊藤 和裕
学校教育担当 指導主事	平山 直樹
学校総務担当 リーダー	小野 恵美
学校教育担当 リーダー	前嶋 裕樹
学校管理担当 リーダー	高原 あゆみ
学校総務担当(議事録作成者)	望月 理香

生涯学習課 課長	武井 学
----------	------

4 協議事項の内容

(1) 義務教育学校の設置準備について

学校教育担当L 紙資料に基づき説明

教育長

昨日の設置検討委員会では、「笛川学園」「笛川小中学校」「笛川学校」の3つの案に絞り込んだ。

保護者の方からは「学園」という言葉に「私立的」「馴染みがない」「子供たちに抵抗感がある」という意見があった。そのため、「その他」の意見にある「学校」という言葉を使った「笛川学校」も候補に加え、この3案に絞ることで満場一致となった。

子供たちの新しい学校を自分たちの手で作っていくという意識を大切にしていきたいという意見が出たため、この3つの候補の中から再度、笛川小学校と笛川中学校の児童生徒たちに子供たちの意見を尊重するためのアンケートを取って意見を聞くこととした。8月27日から9月5日までの間に、各児童生徒が自分の端末から回答することとした。

特に小学校では学年によって発達段階が異なるため、新しい学校名の意見を尊重して決めるために再度アンケートを取ることを事前指導を行うこと、アンケート結果は事後指導に活かすことができ、今後の学校全体の意識向上にもつながるということを小中学校関係者も納得している。

意見の中にネガティブなものもあったが、尊重しながら進めるので、この方針でよいか。

相沢委員

先日の説明会に参加したが、非常に丁寧に対応されていると感じた。

保護者からも、学校側の説明と教育委員会の説明に相違がなく、一体となって進めていることを実感しているという声があった。

今回、さらに第2段階として子供たちの意見をもう一度聞くという丁寧な対応の方針でよいと思う。

原委員

丁寧な説明と同時に、意見を反映させ、粘り強く取り組んでいる姿勢がある。

子供たちに、ある程度絞り込んだ上で再度問いかけるのは、丁寧な決定プロセスとしてよいと思う。

教育長

絞り込んだものから子どもたちに再度アンケートを取ることにより了承してもらったということ、具体的な意見はあるか。

原委員

資料2ページに記載されている条件を踏まえていれば良いと思う。

教育長

皆様から「丁寧な対応」との意見に、大変勇気づけられた。他の自治体では行政指導で強引に進めるケースもあるようだが、山梨市では意見を尊重し、今後も丁寧に対応していく。

教育長

今後の予定について引き続き説明をお願いする。

学校教育担当 L 紙資料に基づき説明

教育長

学校設置条例の改正については、理解してもらいたい。改正後、県の学級編成基準等の規則改正申請を進める。これについてはよろしいか。

教育委員

異議なし

教育長

一体型校舎の整備についても、幅広い方の意見を取り入れ、基本設計に活かしていく。アンケートは、全てがその通りになるのではなく、校舎整備の参考にしていくため、細かさ、大きな視点での具体的な意見をもらいたい。この方針でよろしいか。

原委員

前回提示されたロードマップによると、令和10年度に一体型校舎を開校、令和9年度に工事、令和8年度に設計書作成という認識でよろしいか。

学校教育担当 L

大きな変更点はないが、令和9年度の早い時期に着工できるようにするには、令和8年度終盤で入札して3月議会で工事の承認を得なければならない。令和8年中に可能にするには設計も7・8ヶ月必要なため令和7年度中に設計の発注をかけなければならない。

原委員

校舎を造るにあたり説明する機会はあるのか。

教育長

市民説明会や情報提供は、引き続き丁寧に行う。広報の特集ページを作成、地域・保護者向けの説明会を課題に応じて開催し、多くの情報が届くよう努める。

(2) 教師の服務規律の確保の徹底について

教育長 資料1-1~5に基づいて説明

教育長

質問はあるか。

新谷委員

便り等の写真はどうか。

教育長

スマホで撮った写真は学校の共有フォルダに入れ、複数人でチェックし、肖像権の使用許可も同意を得ています。

(3) 全国学力・学習状況調査の結果について

平山指導主事 紙資料に基づき説明

原委員

学力調査の結果について、単純な正答率だけでなく、質問紙調査と関連付けて、学校ごとの弱点を把握することが重要である。

今回成績の良かった学校の取り組みを情報共有し、課題のある学校には聞き取りしながら指導主事がアドバイスをするシステムをつくらないと学校任せではなかなか変わらない

い。

数字を見て「頑張れ」とだけ伝えるのではなく、丁寧なアプローチが必要で、子供たちが弱点を抱えたまま進むのは不幸なことなので、授業が分かるよう支援する体制を整えてほしい。時間もない、方法も分からない中でいい情報を伝えてできることを行うしかないと思う。学校任せにしない取り組みがあればと思う。

教育長

貴重な意見だと思う。教育事務所の指導主事とも協力しながら進めていければと思う。

武井委員

正答率の高低はクラスの人数に比例する傾向があるとのことだが、これは1クラスの人数に比例しているということか？

平山指導主事

全てではないが、昨年度もその傾向が見られた。クラスの人数が多い学校の方が学力で課題が見られる傾向がある。

武井委員

中学校でも同じことが言えるか。

平山指導主事

中学校は人数に大差がない。

武井委員

中学校は生徒数に比例しているとは言えないのではないか。

少人数学級で手厚い指導ができている方が成績に反映されているということになると、原委員の意見と重ねて、この結果をどうやって反映させていくかということにつながってくると思う。

原委員

課題把握の仕方で、文科省の分析にあるように、正答率の分布状況（できる子とできない子の両極端か、山なりの位置がどこにあるか、全体が低いか）も把握すべきである。

単なる人数の問題ではなく、分布状況を分析することで、個別の指導が必要なのか、全

体的な指導が必要なのか、取り組み方が変わってくる。

過去には人数が多い学校でも良い成績を収めていた例もあるため、丁寧な分析をすべきである。

教育長

結果のみにとらわれず、取り組み方法も含めて分析し、人数だけで判断しないよう学校へ戻していき、質問紙との関連付けもすすめていきたい。教育事務所も同じことをしているので取り組みを共有していきたい。

(4) 第1回生活いじめアンケート集計結果について

平山指導主事 紙資料に基づき説明

教育長

第1回目のアンケート結果について気になる点などあるか。

原委員

個別の問題ではあるが、学級人数に対しての認知人数の割合を考えると学級自体がどうなのかと思う。

個別の対応だけでなく、学級指導や学級づくりにも踏み込んでいかないと、担任の先生が苦しむことになるため、学校全体で先生方を支援する体制をつくってほしいと思う。学級人数と認知件数から学級づくりを先読みするなど分析することも大事である。

平山指導主事

指摘の通りであるが、例えば、加害者が1人に対して複数人が被害をうけているケースもあり、みんなが嫌な思いをすることで数が増えていることも含まれるため指導していきたい。

教育長

せっかく集計できたデータなので、担任や校長が結果を見た時に、今後の改善に活かせるような形で提示し、「この子がいるからだ」と個人に押し付けるのは危険であるため、学校全体でいじめ問題を進めていくことが大事である。

学力調査の結果もそうだが、しっかりとした学級集団・学習集団を、担任だけでなく学校

全体で同じ方向を向いてつくっていく経営が非常に大切だと感じる。

新谷委員

子供によっては本当のことが言えなかったり、親にも相談できなかったりするところがあるが、いじめ発見のシステムだけでなく、相談できるものがあることを子供や親は知っているか？

齊藤指導主事

夏季休業明けに児童生徒の自殺件数が非常に多くなる傾向があるため、各学校に「心の健康観察」という端末から心の状況アンケートや相談したいことの有無、誰に相談できるかなどを入力するものの実施をお願いしている。

また、相談窓口については県の総合教育センターの相談支援室や、県内の365日24時間対応可能な電話相談窓口などの情報も提供している。

新谷委員

いじめの発見システム、相談できるシステムの他に、いじめ解決のシステムも重要であり、いじめ問題対策委員会などで、いじめが発見された時にどのように丁寧に対応するかが非常に重要となる。

いじめの認知件数は増えていて、重大事態の発生も過去最多となり、手口も多様化している。誠意ある、丁寧かつ迅速な対応が求められると思う。

武井委員

山梨市は「いじめ防止対策」の指定を受けているか？

教育長

山梨市民全体の「自殺防止対策」の指定をこども・子育て支援課で受けている。

武井委員

10年前、山梨市(峡東地区)は他の地域に比べて、いじめの重大事案や自殺・未遂に発展するケースが少ないと感じた。

今回のいじめアンケート結果と先生方の対処状況を見ると、山梨市はよくできていると思う。

教育長

学校長も SOS に対する学校教育を意識しており、いじめ問題と関連付けて周知することが必要である。

初期対応は何よりも大切であり、未然防止につながる学級づくりや集団づくりの重要性を校長会などで再共有する。

担任を一人ぼっちにさせない体制が非常に重要であり、メンタルヘルス研修会でもその点について意見交換したい。

平山指導主事

アンケートの認知は80%、いじめ認知された子のうち、自分から相談できたのは約4割である。

教育長

6割ができていないということが課題であることを共有していきたい。

(5) その他

なし

5 報告事項

(1) 給特法改正(業務量管理・健康確保措置実施計画)について

教育長 紙資料の基づき報告

教育長

何かあるか。

教育委員

特になし

(2) 10月から3月までの給食費無償化について

学校教育課長 報告

今年度も4月から9月まで給食費を無償化しているが、物価高騰を鑑み、10月以降も引き続き給食費の無償化を継続する。

教育長

よろしいか。

教育委員

よろしい。

(3) 市民総合体育館の大規模改修について

生涯学習課長 報告

本市の体育施設である総合体育館は築40年が経過し、老朽化が進んでいる。

また、災害時の避難所としての役割も求められているため、市では全面改修を行うこととなった。

令和7~9年度の継続費14億円を使い、まず令和7~8年度で施設の内部改修を行う。この間、約11ヶ月間は休館。

その後、令和8年度末から9年度にかけて外側の部分を改修するが、この期間は施設利用が可能。

大規模改修は、令和9年7月開催のインター関東ブロック大会(ウェイトリフティング会場)までに完成予定。

内部工事の契約は9月議会で議決された後、詳細なスケジュールは後日改めて報告する。

休館については、市広報誌、ホームページ、SNSで市民にお知らせする。

補足として今回は、設備工事(エアコン、換気、トイレなど約4億円)、電気工事(照明、高圧受電設備など)、建築工事(屋根、サッシ調整など)を工事する。

(4) その他

なし

6 連絡事項

(1) 教育委員の予定について

学校総務担当 L 次第記載に基づき連絡

学校総務担当 L

前回の教育委員会で質問があった運動会・学園祭の出席については、参加のみで、挨拶は不要。順延の場合は欠席してもよい。

(2) 山梨市議会9月定例会日程について
学校総務担当 L 次第記載に基づき連絡

教育長

質問はあるか。

(3) その他

なし

教育長

以上で議事を終了する。